

◆資源・環境対策事業

漁協・漁業者主体の資源管理構築（ナマコ・ヒトエグサ）

水産業改良普及センター 紫波 俊介

1. 目的

本活動は、久米島においてナマコ類資源の持続的利用、有効活用を図るため、同地で主に漁獲されるトゲクリイロナマコを主対象として、漁協・漁業者が継続して実践できるナマコ類の資源管理体制を検討していくことを目的とし、漁業制限の代替収入としてヒトエグサ養殖の導入を図った。

2. 方法

(1) ヒトエグサ養殖の実施

同養殖は久米島漁業協同組合仲与志勇漁業士、伊関亜里砂組合員、譜久里長徳会計主任と共に実施した。

(2) ナマコ資源管理報告会の開催

3. 結果

(1) ヒトエグサ養殖の実施

①試験養殖の実施

特区230号（以下「奥武島東」という）、233号（以下「カイクン」という）、試験養殖区域（泊港横干潟）にて9月18日より、網を設置した。

また、PP縄、リニアバンドを用いてリボン網を作り、リボン網区、対照区と比較した。

北中城での本張り方法と同様に5mm以上の長さとなった後、密生具合や汚れを考慮し、順次本張りを行った。最も早く本張りへ移行したのは、カイクンリボン網区で11月18日に本張りした。奥武島東はまばら、試験養殖区域はのびは良かったものの、まばらで汚れが酷かった。

リボン網について、1月15日の時点でカイクンリボン網区は対照区の2.6倍の収穫量となった。（表1参照）

カイクンのリボン網区の網を11月下旬に奥武

島東、試験養殖区域、特区231号（以下「奥武島北」という）、232号（以下「エビ養殖場前」という）5カ所に本張りした。

エビ養殖場前、奥武島北は成長が早く、1月初旬に収穫可能となった。エビ養殖場前は排水の影響か色が濃い、粘り気のある乾燥には適さないヒトエグサ、奥武島北は水路に面しており、低気圧の影響による強い流れの影響か、切れてしまった。カイクンも1月下旬に収穫サイズに達したが2月には流れ藻の影響を受けその後の収穫は困難だった。

試験養殖区域は2月に収穫サイズに達し、色も濃く、北中城支所での評価は高かった。奥武島東は2月に入りようやく収穫サイズに達した。2月27日に3枚収穫したところ、脱水重量で17.8, 15.9, 8.0kg/枚であった。

色は薄いものの、漁場は流れ藻の影響もほぼ受けず、3月でも収穫可能だった。しかしながら3月下旬となるとほとんどの網で色が薄く、藻体も縁がギザギザになり、収穫時期としては遅いと判断できた。

②ヒトエグサ養殖視察先進地視察研修

「ヒトエグサ養殖指導（那覇地区漁協）」参照

(2) ナマコ資源管理報告会の開催

3月25日に久米島漁協ヒトエグサ養殖希望者11名に対し開催し、久米島ナマコ資源の脆弱性と漁業の採算性、アーサ養殖方法、各地および久米島の養殖状況、経費について説明し、ナマコ漁業からヒトエグサ養殖への転換を促した。また、本土の養殖機器取扱業者も同席し、摘み機、乾燥機等の情報提供を行った。

説明を受け渡名喜組合長から組合員に対し、

今後ヒトエグサ養殖に向け、養殖希望者を募り部会を立ち上げること、今後加工機器等を漁協にて導入を行いたいとの考えを示された。

4. 考察

今後養殖場として有望な特区は奥武島北、奥武島東があげられる。奥武島北は色づきも良く、成長も早かったが、流れの影響を受ける可能性があるため、流れないように天候と藻体の長さに注意を払う必要がある。奥武島東は生育は遅く、色は薄い、漁期終盤まで安定して収穫が可能である。色の対策として、硫安による色上げ試験も行い品質向上を図るべきであろう。カイクンは流れ藻の影響が予想通り強く、収穫期間が短く不安定になることから、養殖場には適さない。

よって今後安定的に養殖を営むには、まず奥武島北、奥武島東を中心に養殖し、1月上旬から奥武島北にて収穫を開始し、奥武島北が収穫で

きない際に奥武島東で収穫し、カイクンについては両特区で種付けが安定するまで、移設を前提とした種付け場として利用する事が望ましいと考える。生産者に余力があれば、再度エビ養殖場前も本張りを行って頂きたい。

リボン網については、今回は一定の効果を得られ、リボン自体もリニアバンドを用いればゴミも出ず、複数年使用できる可能性はあるものの、手間がかかるため、なるべく使用しない方が望ましいと指導した。

また、試験養殖区域での試験養殖は特区にて今後養殖出来る見込みが付いたため、今年度にて終了する。

ナマコ漁業規制については、次年度以降「豊かな海づくりに関する実践活動推進事業」を久米島漁協が利用し、積極的な規制と、ヒトエグサ養殖への転換を推進することとなった。



	収穫量(kg/枚)
リボン網区	11.1
対照区	4.2

表1 1月15日カイクンにおけるリボン網区と対照区の収穫量（脱水重量）比較



1月15日 カイクン
対照区：左側2枚 リボン網区：右側4枚



1月9日 エビ養殖場前



1月9日 奥武島北



1月15日 久米島養殖アサ天ぷらに舌鼓の
宮里参事、仲与志指導漁業士



3月25日 奥武島東